

緊急開催

沖縄から問いかける「平和・経済」連続講座 第2回

激動の東アジア情勢と 沖縄の自立した経済政策を 考えるシンポジウム

日時／6月28日(木) 開場5時30分 開演6時30分～9時00分

会場／那覇パレット市民劇場

会費／500円(資料代)

第一部 基調講演 アジアダイナミズムと沖縄

(一財)日本総研会長 寺島 実郎氏

第二部 シンポジウム

[パネラー]

(一財)日本総研会長 寺島 実郎氏

沖縄県副知事 富川 盛武氏

沖縄県商工会連合会会長 米須 義明氏

[コーディネーター]

沖縄国際大学准教授 比嘉 正茂氏

PROFILE

一般財団法人日本総合研究所会長 寺島 実郎氏



(一財)日本総合研究所会長、多摩大学学長。1970年代、三井物産の調査マンとしてイランのIJPCプロジェクトに関わり、以来、中東やアメリカで情報収集・分析活動を続けてきた。10年にわたるアメリカ勤務を経て日本に帰国後、企業内シンクタンクとして「三井物産戦略研究所」を立ち上げ、世界の最前線でビジネスを展開するための知の基盤の構築に力を注ぐ。「文献とフィールドワーク」をはじめとした、体験に根ざした独自の視点から国内外の経済、政治、外交、エネルギー政策、宗教と、幅広い分野での提言を続けている。著書多数。

[ごあいさつ]

米朝交渉の行方に世界中が注目しています。前回のシンポジウムで、この動きと安全保障や在沖米軍基地への影響等を、日米の識者に活発な意見交換をしていただきました。

今回は第1部で、あらためて世界の潮流・習近平第二期政権と東アジアへのインパクト、我が国とりわけ沖縄が、より力強く自立した経済を確立するための指針を、寺島実郎氏が基調講演をされます。

第2部のシンポジウムではパネラーとして、寺島実郎氏そして研究者としても県の経済政策にも深く関与されて来られた富川盛武副知事、また地域の経済活動に果敢に挑戦されている、米須義明県商工会会長が加わります。コーディネーターは新進気鋭の研究者・比嘉正茂冲国大准教授が担います。

アジアのGDPが世界の30%を越し、2040年には5割を超すと予測されています。このアジアダイナミズムの中に沖縄をどう位置付け高めていくか、熱い議論に期待が高まります。多くの方々のご参加をお待ちしています。

共催／(一社)寺島文庫、代表理事・寺島実郎・(一社)勁草塾、代表理事・齋藤勁

後援／沖縄県、沖縄タイムス社、琉球新報社、連合沖縄(順不同)

FAX送付先

098-866-8955

先着 300名様

沖縄から問いかける 「平和・経済」連続講座

第2回 6/28

沖縄から
問いかける
「平和・経済」
連続講座

— 第2回 —

激動の東アジア情勢と 沖縄の自立した経済政策を 考えるシンポジウム

[第2部 シンポジウム] 識者プロフィール

富川 盛武 氏

パネラー

沖縄国際大学教授、08年～15年沖縄国際大学学長、15年～沖縄県政策参与、17年3月～沖縄県副知事。

米須 義明 氏

パネラー

北谷スポーツセンター社長、沖縄県ボーリング場協会会長、那覇青年会議所理事長、北谷町商工会会長、18年5月～沖縄県商工会連合会会長。

比嘉 正茂 氏

コーディネーター

(財)総合研究開発機構リサーチフェロー、山梨県大月市立大月短期大学准教授、沖縄国際大学経済学部准教授。専攻、公共経済学、地域発展論。

第1回講座

安全保障を考えるシンポジウム 5月21日(月)

アンケートに寄せられた方々の主な感想です。

今回の企画の内容について伺いました。(アンケート提出いただいた方々の総数による。)

良い 66% **普通 31%** **悪い 3%**

上記を判断された理由や意見等伺いました。(紙面の関係ですべてご紹介できません)

- *なかなか聞くことのできないパネラーの方々の話を聞くことが出来た。(同意見多数あり)
- *在沖総領事の話聞けるのは貴重。(多数あり)
- *在沖総領事のコメント・発言がほとんど用意されていたもので残念。
- *コーディネーターの誘導が良かった。(多数あり)
- *政策、政治を民間の力で変えることが出来る原動力を感じました。
- *藤田氏の話に同感することが多かった。前泊氏のつこみはおもしろかった。(複数あり)
- *こうした問題を話す機会を多くつっていただきたい。(複数あり)
- *会場からの質問時間やレジュメや資料がほしい。
- *日本国が独立国の体を示していない。国民主権・基本的人権・民主主義・国民の命を軽んじ憲法違反の日米地位協定を優先し、73年も改定さえできてない、情けない国家である。
- *とても素晴らしいシンポジウムでした。もっと多くの人に聞いてほしかった。基地問題のテーマの時、もっと多く集まることが多いため、いつもよりゲートの前に集まる方達は少なかった。しかし、若い人やゲート前に来ない人が多いように見えたのも良かった。一番胸を打ったのは柳澤さんの最後の言葉でした。名護市長選挙の話、政治に無関心な若者に寄り添うという人間性、インパクト受けたのが言葉を超える。
- *アメリカのプロパガンダを聴かされた思いでした。時間がもったいない。
- *だいぶ久しぶりに聞きごたえのある安全保障関係のシンポジウムでした。(複数あり)
- *もう少し早い時間に開催してほしい。
- *普天間の危険性。除去は急務であることを全国民が認識するよう報道してほしい。大事故(人身事故)が起きてからでは遅い! 宜野湾に住む者として、地下水汚染の問題を議論してほしい。米軍基地の環境汚染調査をする。
- *南北平和宣言が実現の可能性が明示されたいま、とても適切な会議。(複数あり)

アンケートにご協力いただき有難うございました。今後の課題として受け止めさせていただきます。

[パネラー]

藤田 幸久 氏
参議院議員

ジョエル エレンライク 氏
在沖米国総領事

柳澤 協二 氏
元内閣官房副長官補

[コーディネーター]

前泊 博盛 氏
沖縄国際大学教授